



天文台だより

銀河の森天文台
2023 秋号
Vol.101

7/8(土)、第12回陸別スターライトフェスティバル開催しました!



150インチスクリーンに登場した梅本智文氏

7月8日(土)に第12回陸別スターライトフェスティバルを開催しました。今年2023年は開館25周年記念の年で、イベントでは、国立天文台梅本智文氏による講演会「宇宙に生命はあるか?」を開催しました。講演会は梅本先生のご都合でリモート開催になりましたが、本田学陸別町長のあいさつ時に、梅本先生が大型スクリーンに登場すると会場に集まった参加者の注目がスクリーンへ向かい、通常の講演会とかわらず進行することができました。講演会最後の質問タイムでは、NHK教育テレビ高校講座出演時からの梅本先生ファンの方や学生からたくさんの質問が出て、宇宙の生命という大きなテーマに会場は大盛況でした。

「館長コラム」～彗星～

今年の夏は、とても暑い日々でした。9月になっても残暑がつづいています。夜は湿度が高く霧がかかる日が多く星空もあまり見られませんでした。地上の天気には関係なく、星空は夏から秋の星座へと模様を変えていきます。そんななかでも、久しぶりに日本人が単独で彗星を発見しました。西村彗星といいます。9月の中旬に太陽に接近しました。長く尾を引いた姿が明け方の東の空に見ることができるという予報も出ていました。この天文台だよりが発行される頃には結果が出ていると思います。いままでいろいろな彗星を見てきましたが、そのなかでも思い出深いのは、40年前の1983年5月から6月に見られた「アイラス・荒貴・オルコック彗星」です。地球にかなり近づいたため望遠鏡で見ているとたくさんの星の上を滑らかに動いているのがわかりました。ふわふわとした青い綿菓子や星々の上を滑っていくような感じです。肉眼で見た彗星としては、20年以上前になりますが、百武彗星とヘールボップ彗星が見ごたえがありました。西村彗星は、どんな姿を見せてくれたのでしょうか。



館長
津田浩之(双子座)

「驚き! おもしろ科学実験2023」を11月25日(土)に開催します!

☆ 驚き! おもしろ科学実験2023

開催日時: 11月25日(土) 午後1時~午後6時

内容: 1階展示室に様々な実験ブースが展覧されます。入館料のみで参加できます。

秋のイベント情報!!

☆木星・土星と秋の天体観望会

今年はこの時期、人気の二大惑星木星と土星をじっくり楽しめます。望遠鏡では木星の縞模様や土星の環がはっきりわかります。ぜひ、ご来館ください。

開催日: 10月4日(水)~15日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

☆ハロウィンナイト観望会

期間中、仮装してご来館いただくと、素敵なプレゼントを差し上げます。館内や望遠鏡を飾りつけて、皆様のお越しをお待ちしております。

開催日: 10月25日(水)~29日(日)

☆外惑星と秋の天体観望会

秋に入り、外惑星(木星、土星、天王星、海王星)が見頃を迎えています。秋の天体と共に望遠鏡でご案内します。ぜひ、ご来館ください。

開催日: 11月1日(水)~12日(日)

説明会: 午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

☆ふたご座流星群観望会

今年のふたご座流星群は12月15日午前4時に極大時刻を迎えます。流れ星が多いと予想されるこの期間に観望会を開催します。

開催日: 12月14日(木)、15日(金)

説明会: 午後7時30分から

暦表 (陸別町)

| | 日の出 | 日の入 | 月齢 | 月の出 | 月の入 |
|---------|------|-------|------|-------|-------|
| 10月 1日 | 5:18 | 17:11 | 16.1 | 17:58 | 7:16 |
| 10月 15日 | 5:34 | 16:47 | 0.4 | 5:48 | 16:54 |
| 11月 1日 | 5:56 | 16:21 | 17.4 | 18:12 | 9:53 |
| 11月 15日 | 6:14 | 16:05 | 1.7 | 8:16 | 16:55 |
| 12月 1日 | 6:33 | 15:54 | 17.7 | 18:54 | 10:22 |
| 12月 15日 | 6:46 | 15:53 | 2.1 | 9:13 | 17:50 |

天文行事&暦

10月

- 4-15 木星・土星と秋の天体観望会
- 8 寒露(24節気:太陽黄経195°)
- 15 ●新月
- 24 霜降(24節気:太陽黄経210°)
- 金星が西方最大離角
(光度:-4.5等, 離角:46°.4)
- 25-29 ハロウィーンナイト観望会
- 29 ○満月
- 部分月食(最大食分0.128)
- (始4:34、最大5:14、終5:53)

11月

- 1-12 外惑星と秋の天体観望会
- 3 木星が衝
(光度:-2.9等, 視直径:49".5)
- 8 立冬(24節気:太陽黄経225°)
- 13 ●新月
- 14 天王星が衝
(光度:+5.7等, 視直径:3".8)
- 18 しし座流星群が極大
(PM2時 最大20個/時)
- 22 小雪(24節気:太陽黄経240°)
- 27 ○満月

12月

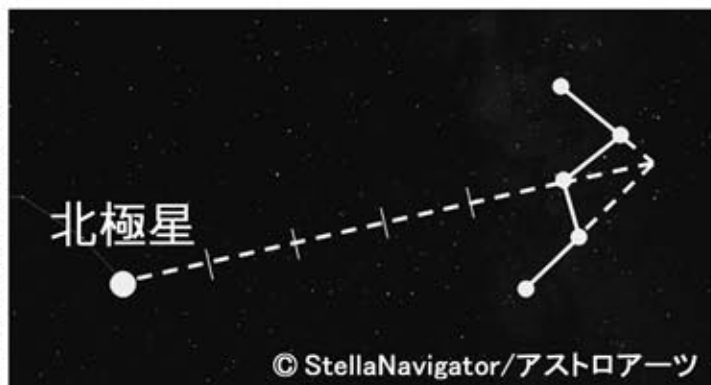
- 4 水星が東方最大離角
(光度:-0.4等, 離角:21°.3)
- 7 大雪(24節気:太陽黄経255°)
- 13 ●新月
- 14, 15 ふたご座流星群観望会
- 15 ふたご座流星群が極大
(AM4時 最大80個/時)
- 22 冬至(24節気:太陽黄経270°)
- 27 ○満月

季節の星探し「カシオペヤ座」

秋の星空で有名な星座としてカシオペヤ座があります。ギリシャ神話に登場する王妃の星座で、3つの2等星と2つの3等星で作られるW(またはM)の形をした並びが特徴的です。

カシオペヤ座は秋の夜に空の高いところに見えるため秋の星座に分類されていますが、北側の空が開けている場所では1年を通して見ることができます。カシオペヤ座は北極星に比較的近い場所を周っているため、日本の大部分の場所から見た場合は地平線に沈まない「周極星」となるからです。

また、カシオペヤ座は、北斗七星のように北極星を探す手がかりとしても使われます。Wの両端2つの辺を延ばして交差した点と、中央の星を結んで作った線を中央の星の方向に5倍延ばすと北極星にたどり着きます。(三)



ペッコカめぐり「今年のふたご座流星群は好条件」

今年のふたご座流星群は、月明かりの影響がない好条件で見ることができます。ふたご座流星群は近年では一年で最も多くの流星が流れる流星群で、毎年12月14日頃に極大を迎えます。ピーク時(15日の明け方)には一時間あたり70個程の流星が見られると予想されていて、今からとても楽しみです。12月14日の夜は晴れてほしいですね。

ところで、ふたご座流星群の元になった天体(母天体)は、小惑星フェートンです。流星群の母天体は通常彗星なのですが、フェートンは元々彗星だったものが塵を出し尽くして小惑星になったものではないかと考えられています。そして今、2024年度打ち上げを目標として、JAXAの探査機「DESTINY+」がフェートンへ向かおうとしています。「DESTINY+」により、フェートンが本当に元は彗星だったのかが解明されるかもしれません。(中)



天文台からのお知らせ

- ☆ 10月より開館時間が、13:00~21:30となります。
(昼間13:00~17:00、夜間17:00~21:30)
- ☆ 年末年始12月28日(木)~1月3日(水)の期間は、天文台休館日となります。

プラネタリウム情報!!

- プラネタリウムは、開館日の土・日・祝日のみの上映になります。
- 定員:10名(入館者先着順、受付にて整理券を配布)
- 上映時間:午後3時、4時、5時(開館日の土・日・祝日のみ)
- 上映番組:「今夜の星空」(各回約10分)

発行・編集: りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)
〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100
URL: <https://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>
E-mail: ginga@rikubetsu.jp X(旧Twitter): @ginganomori_obs

